

意見交流を円滑にする Writing 及び Google ミートを活用した他校との遠隔授業 (Here We Go! English Course1 Unit7 New Year Holidays in Japan)

①書く

①話・や

②個・学

②協・遠

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④Google ミート

①「アナログとデジタルの活用」

生徒自身の自己紹介を撮影し、その動画を見て英文を書き取る。書き取った英文を見直し、修正する表現を、自分自身で見付け出す。発した英語を自分で聞き直すことにより、正しい英文になっているかを考えることで、自主的な課題解決を行うことができる。

②「Google ミートを使ったやり取り」

小規模校のために、会話の相手が定着してしまうことに対し、Google ミートを活用することで、他校生徒と会話をし、緊張感の中、即興で会話する力を鍛えることができる。また、多様な価値観や意見に触れることで思考を広げることができる。即興での対話が苦手な生徒の中には、チャット機能を利用する等、会話を続けようとする意欲的な態度が見られる。

【実践の目標】

英語で他校の生徒と互いに自己紹介をし合い、相手に英語で質問したり、相手からの質問に対して英語で答えたりすることができる。

【実際の場面】

1. 即興で考えた自己紹介を録画し、英作文を書く

はじめは、すぐに英作文に取りかからず、自己紹介文を頭の中で考えた。考えた内容を口頭で発表し、タブレットに録画した。

録画した動画を観て、生徒自身が発表したままの文章をノートに書き、自己紹介文を書いた。



2. 英語表現を見直す

ノートに書いた英文を修正した。その後、教師による添削を再度行い、正しい表現で書かれた紹介文に清書した。

3. Google ミートで他校の生徒と交流する

清書した紹介文を参考に、グループ分けした Google ミート内で交流を行った。英語で自己紹介をした後、生徒同士で質問をしたり、答えたりした。即興で会話をする中でも、前時で修正した英語表現を意識して会話をし、正しい英語で会話ができるように心がけた。

4. 自己評価と振り返りをする

交流終了後に、生徒自身ができること、課題だったことを記入し、スプレッドシートで共有した。次回の交流に向けて、共有した情報を基に改善をしていく。

【成果と課題】

【成果】

- 「書くこと」が苦手な生徒が、自己修正を行うことで、英語表現の課題を発見し、課題解決に向けて、自主学習ノートで表現したり、授業で提示した文法が記載された Google スライドを見直してワークを解いたりする等家庭学習に取り組もうとする意欲が高まった。
- 「話すこと」の苦手な生徒にとっては、英文を用いて質問する、チャットで質問する等、書く機能を活用することで、意欲的に取り組もうとする態度を養うことができた。

【課題】

- 個別支援が必要な生徒は、即興で答えられる課題を設定していなかったため、返答にとまどう場面があった。事前に ICT の使い方を含む個別支援の在り方を工夫する必要がある。
- ループリックを設定する等、評価基準を細かく提示できていなかったため、生徒個人が目標設定をすることが難しく、「書く」ことについての課題を個別で見付けにくかった。

江田島市立三高等学校

